

第253回

荒川の 人

ACC 30th
ANNIVERSARY
ACC30周年記念

荒川区にゆかりのある人にスポットを当てた『荒川の人』。これまで『荒川の人』で荒川の街にまつわるエピソードを披露してくださった方々は30年で総勢252名にものぼります。節目となる30周年を記念し、過去に登場した“あの人”にアンコール。

生まれ育った荒川の街に野球で恩返しを!
全力プレーでファンに愛されたオールラウンダー。

元プロ野球選手・解説者 **森本稀哲**さん

【プロフィール】1981年1月31日生まれ。旧道灌山中学校卒業。帝京高校の主将として第80回全国高校野球選手権大会に出場。1999年、ドラフト4位で日本ハムファイターズ（現北海道日本ハムファイターズ）に入団。2006年から3年連続ゴールデングラブ賞を受賞し、2007年にはベストナインに選ばれる。実力もさることながら球界屈指のムードメーカーとして多くのファンを魅了。2011年に横浜DeNAベイスターズへ移籍した後、埼玉西武ライオンズへ。2015年9月現役を引退。



三つ揃えのスーツをダンディに着こなし、颯爽と現れた森本稀哲さん。粘り強いプレースタイルとコスプレパフォーマンスで一躍球界の人気者となった森本さんは、現在も現役時代さながらの広い守備範囲でマルチに活躍されています。いつも明るくポジティブな森本さんにとっての揺るぎない信念、思い描く未来図、そして荒川区への想いについてお話をうかがいました。

全力プレーを貫いた
17年間のプロ野球人生

『何事も全力でやること』それこそが、森本稀哲さんが野球人生の中で学び、身につけてきた信念です。

「たとえば全力疾走。当たり前でできそうで、これが意外とできないんですよ。それでも粘り強く全力で走ることを心がけていると、その小さな努力が積み重なり、結晶のようになって、やってくる瞬間があるんです」

その結晶とも呼べる瞬間は、25年ぶりとなるリーグ優勝を決めた2006年のプレーオフでの対ソフトバンク戦や、助っ人外国人選手の逆転サヨナラ満塁ホームランで劇的な勝利を収めた2009年のクライマックスシリーズでの対楽天戦に訪れました。

今でも強烈な記憶となって脳裏に焼き付いている、これらの試合と同じくらい森本さんにとって忘れられない一戦があります。それが2015年9月27日の引退試合です。本拠地・西武プリンスドームでの楽戦。3対1でリードしたまま8回からライトの守備に入ることになりました。8回裏の攻撃は1番から。森本さんの打順は7番。この攻撃が終われば9回表を守り切って試合終了となる可能性が高い中、「稀哲さんに回せ」を合言葉にチームは奮起。自分のために懸命につないでくれる仲間の姿を目の当たりにして、ネクストバッタースサークルで待つ森本さんの胸にはすでに熱いものがこみあげていました。そして、チームメイトの思いが託されたバッターボックスへ。ピッチャーが投じた3球目をフルスイング。プロ野球選手とし

て、最後の打席は3塁ゴロに終わりました。練習でも試合でも常に全力プレーを貫き、チームメイトに慕われ、ファンから愛された森本さんはこの日をもって17年間の現役生活にピリオドを打ち、ユニフォームを脱ぎます。

新しいチャレンジの日々
変化の中でも常に自分らしく

「現役の頃は朝起きると、腰や肩などに痛みがないかをチェックすることが日課でした。今は声が大事な仕事道具になったことで、のどのコンディションを最優先に気遣うようになりましたね」

引退してもなお『体が資本』であることに変わりはないようです。ただ、一歩離れたところからプロ野球と関わることで見えてきたことも。

「取材で球場に足を運んだ時に、多くのファンの人たちの声援に支えられていたことをあらためて実感しました」

解説ではそんなファンの目線や気持ちに寄り添って、ひとつひとつのプレーを分析し、わかりやすく伝えるよう心がけています。

現役引退後は、野球以外の分野でもひっぱりだこ。北海道の情報番組ではコメンテーターを務めるほか、ビジネスマンに向けた講演会活動、非常勤講師として大学の教壇に立つなど、変化を受け入れながら何事も前向きに取り組む、多忙な毎日を送っています。

「若手選手の育成にも興味があるので、コーチや指導者になるための勉強もしていますが、進むべき道を見極めるために今は、さまざまなことにチャレンジしている最中です。講演会では高校時代に主将としてチームを引っ張り、甲子園に導いた経験などをお伝えしています。僕の話が皆さんの心に響いて、少しでも人生に対して前向きになっていただけたら、うれしいですね」

そして、著書の出版も新たな挑戦のひとつとなりました。自身の半生を振り返りながら、どんな逆境でも乗り越えていくための強い心を身につける習慣をまとめた『気

にしない。』（ダイヤモンド社）は森本さんの意欲作です。

荒川の街にいつか恩返しを
野球教室で少年たちに夢を与えたい

都会でもなければ、郊外でもない独特の“下町っぽさ”が荒川区の魅力という森本さん。

「子どもの頃、壁にボールを当てて遊んでいた近所の人からこっぴどく叱られたこともありましたが（笑）。日暮里南公園やタイヤ公園（西日暮里六丁目公園）でもよく遊んだし、夏には荒川自然公園で水遊びするのが楽しかったなあ」

昨年からご家族と区内で新生活を開始。2人のお子さんとともに、あらかわ遊園に行くことが楽しみだそうです。

現在、横浜DeNAの山崎康晃投手、広島カープの鈴木誠也選手、巨人の山本泰寛選手といった荒川区出身の若手選手たちがプロの世界で活躍中です。中でも『ハマの小さな大魔神』の異名をもつ山崎投手は帝京高校の後輩でもあり、森本さんが所属していた少年野球チームの後輩という間柄。森本さんは、いつか彼らとともに野球教室という形で荒川の街に恩返しができる、と考えるように。

「チームの勝利に貢献することだけでなく、これからを担う世代に夢を与えることもプロ野球選手にとっての大事な仕事。地元で生まれ育った選手から野球を教わることは、子どもたちにとって貴重な経験になるはず。ぜひ実現したいですね!」

たくさんの人に夢と元気を届けるため、森本さんの全力疾走の日々はこれからも続きます。



前回は北海道日本ハムファイターズに在籍していた8年前(平成22年3月号)に登場。

伊坂会計総合事務所

各種勉強会のお知らせ

- 1 人間 稲盛先生にせまる会(一生懸命)
- 2 松陰先生の至誠にせまる会(利他にせまる)
- 3 会社財務会計の本音を言いあう会(ポジティブに迫る)
- 4 相続の本質に迫る会(謙虚に考える)
- 5 感性を磨く(未成年者中心)会(反省する)
- 6 ありがとうを追求する会(感謝する)

上記各種勉強会を近々スタートします。受講生を募集中です。

※会費は基本的に、カンパで、未成年者は無料です。

連絡先 TEL 03-3802-1418

荒川区南千住5丁目9番6号
伊坂会計総合事務所内 担当: 庄司

木曾路

お昼の集り

4月20日～5月31日まで



ご予約承っております。
良い日のお席はお早めにご予約ください。

奈良井 ならい

盛り込み(前菜・お造り・煮物、和中華み焼き、茶碗蒸し、揚物、御飯、汁物、春の物、デザート)

3,000円(税込3,240円)



ご宴会ご予約承ります。

※無料送迎バスをご用意いたします。※ご予算ご相談ください。

宴会込々

期間: 7月31日(火)まで

コース

◆5,000円国産牛宴会込々コース

※付: お造り(2種)、しゃぶしゃぶ(肉120g・野菜5種)、御飯、春の物、デザート

飲み放題付 国産牛コース代 5,000円

◆6,000円国産牛宴会込々コース

※付: お造り(2種)、しゃぶしゃぶ(肉120g・野菜5種)、御飯、春の物、デザート

飲み放題付 国産牛コース代 6,000円

◆7,000円和牛宴会込々コース

※付: お造り(2種)、しゃぶしゃぶ(肉120g・野菜5種)、御飯、春の物、デザート

飲み放題付 和牛コース代 7,000円



※写真は7000円コースで、3人前イメージです。

●消費税・サービス料込み

●10名様より承ります。

●ご予約にて承ります。



木曾路南千住店

荒川区南千住 5-6-15

電話: 03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント

●2,160円以上の料理をご注文に限りです。

●グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。

●他券との併用はできません。

●ご飲食前に係員にお渡しください。

●H30年6月30日まで有効

●木曾路南千住店のみ有効